

事業費補助金調査票(表)

補助金名	優良種畜造成推進事業補助金
------	---------------

担当課	経済部 農政課				
科目・事業コード	会計	款	項	目	事業
	01	06	01	03	10 - 03
事業名	畜産振興事業				
新規・継続の別	継続				
補助・単独の別	市単				
補助の種類	事業				

R8 予算額	0	千円
R7 予算額	0	千円
R6 決算額	0	千円
R5 決算額	0	千円
R4 決算額	0	千円
R3 決算額	0	千円
R2 決算額	0	千円

事業の趣旨・目的	付加価値の高い黒毛和種を生産するため、資質の高い黒毛繁殖雌牛を導入することにより、生産性及び収益性の向上を図る。			補助対象者	【補助対象者】 本事業の目的に即した活動を行う団体 市内肉用牛・繁殖牛生産農家5戸で肉用牛生産組合を組織								
	開始年度	不明年度			【補助対象経費】 ・優良な繁殖用雌牛を導入し、肉用牛の家畜の改良増殖に係る経費								
根拠法令等	(市)成田市畜産振興事業実施基準			補助率	【補助率】 黒毛和種繁殖雌導入 92,000円/1頭								
留意事項	令和5年7月に組合が解散したため、本事業は廃止する。				【国県等の補助率】 【近隣自治体の補助率】 ・佐倉市: 導入経費の1/3以内 ・香取市: 導入経費の1/3以内								
決算内訳	令和 6 年度決算額等 (単位: 千円)			成果指標	成果指標: 導入頭数 (単位: 頭) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	令和6年度	0.0	令和5年度	0.0	令和4年度	0.0
	年度	数値											
	令和6年度	0.0											
	令和5年度	0.0											
	令和4年度	0.0											
		金額	件数			割合							
全体事業費	0	/	/										
うち市補助金	0	0											
うち国補助	0	/	/										
うち県補助	0	/	/										
自己負担	0	/	/										

事業費補助金調査票(裏)

項目		担当課確認欄	
公益性	補助事業の趣旨・目的が公益性のある事業に該当する	ウ. 地域の経済・産業の振興, 雇用の促進に寄与することができる事業 に該当	
	市の総合計画に合致する	市の基本目標である、「元気な農林水産業を育むまちづくり」に合致する。	
必要性	補助事業の趣旨・目的が社会経済情勢や市民ニーズに適合する	はい	畜産飼料の高騰や家畜伝染病の発生、生産者の減少など畜産業を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、畜産物の安全・安心で安定的な生産を支援し、品質や生産力の向上を図ることは必要である。
	類似の補助事業はない	はい	
妥当性	補助率は1/2以下である	はい	
	近隣自治体と比較した本市の補助水準	普通	
明確性	個別の規則が整備されている	いいえ	
	個別の要綱等が整備されている ※規則が整備されていない場合	はい	
	要綱等に補助事業の趣旨・目的、対象者、対象経費、算定基準が明記されている	はい	
	成田市補助金等交付規則に基づき適正に交付している	はい	
有効性	補助金を交付することによる効果を明確に示す成果指標はあるか	はい	平成30年年度以降、事業を実施していないため、当該事業に対する、過去3年間の実績値を持ち合わせていない。
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	資質の高い黒毛繁殖雌牛を導入し、付加価値の高い黒毛和種(子牛)を繁殖し販売することで農業所得が増加する。
補助対象外経費	補助事業等に直接関わりのない人件費	補助対象外	
	慶弔費及び交際費に係る経費	補助対象外	
	懇親会及び飲食に係る経費	補助対象外	
	慰労を目的とした旅費に係る経費	補助対象外	
	入場料等受益者負担で賄うべき経費	補助対象外	
	団体の資産形成(積立金等)につながる経費	補助対象外	
	その他補助することが適当でない経費	補助対象外	
最終評価	廃止		
所見	<p>飼料価格、種畜費等の高騰、後継者不足と畜産情勢は厳しく、畜産経営の高収益化を図る取り組みが求められる。</p> <p>肉用牛の生産では、肉用牛を繁殖し、素牛(子牛)を肉用牛肥育農家に販売する繁殖経営に取り組む生産者が多い。肉用牛の繁殖にあたっては、繁殖用雌牛の遺伝的能力(産肉能力、繁殖性等)が子牛価格や繁殖成績等の生産性に大きく影響する。</p> <p>また、近年は優良血統の繁殖用雌牛を生産する農家戸数の減少や飼料費等の高騰を受け、導入経費が年々増大している。</p> <p>令和5年7月に生産者の減少により肉牛組合が解散したため、本事業は廃止する。</p>		